

## 30 血液浄化センター



血液浄化センターは17床の透析ベッドを有しており、入院患者・外来透析患者の血液浄化・透析療法を担当している。14名の医師が診療に従事しており、その多くが日本内科学会・日本腎臓学会・日本透析医学会の定めた専門医・指導医の認定資格を有し、腎疾患および透析領域に加え、幅広い分野への対応に努めている。メディカルスタッフに関しては、専属の看護師が10名、臨床工学技士が3名配属されており、安全で質の高い血液浄化・透析療法および看護の提供に従事している。

2022年度の実績として、血液透析延患者数（30-1）は5,896件、特殊透析延患者数（30-2）は1,613件で前年を上回った。腹膜透析患者数（30-4）は137件で前年より減少した。（2022年度腎臓病教室は開催せず）

### 30-1 年度別透析延患者数 (人)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率(%)
入 院	5,031	5,248	5,123	4,653	5,052	85.7
外 来	1,073	1,366	1,032	913	844	14.3
(うち導入期加算)	(477)	(537)	(510)	(574)	(541)	(9.2)
<b>合 計</b>	<b>6,104</b>	<b>6,614</b>	<b>6,155</b>	<b>5,566</b>	<b>5,896</b>	<b>100.0</b>

※2019年度より抽出方法変更

※導入期加算延患者数において数字の誤りがあったため訂正

### 30-2 年度別特殊透析（血液濾過透析を含む）延患者数 (人)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率(%)
血液濾過透析	1,328	1,615	1,661	1,217	1,121	69.5
(うち緊急)	(16)	(21)	(10)	(12)	(4)	(0.2)
血漿交換	116	98	197	65	109	6.8
(うち緊急)	(21)	(10)	(7)	(3)	(7)	(0.4)
二重濾過 血漿交換	36	19	16	4	5	0.3
(うち緊急)						
腹水濃縮	10	24	35	38	22	1.4
(うち緊急)	(2)	(1)	(2)		(2)	(0.1)
血液吸着	47	34	40	1	14	0.9
(うち緊急)	(1)	(2)	(2)		(1)	(0.1)
血漿吸着	124	21	17	8	13	0.8
(うち緊急)	(8)	(1)			(1)	(0.1)
出張透析	223	185	157	90	145	9.0
(うち緊急)	(54)	(21)	(27)	(11)	(14)	(1)
E C U M	193	122	128	99	184	11.4
(うち緊急)	(33)	(21)	(11)	(9)	(7)	(0.4)
<b>合 計</b>	<b>2,077</b>	<b>2,118</b>	<b>2,251</b>	<b>1,522</b>	<b>1,613</b>	<b>100</b>
(緊急合計)	(135)	(77)	(59)	(35)	(36)	(2)

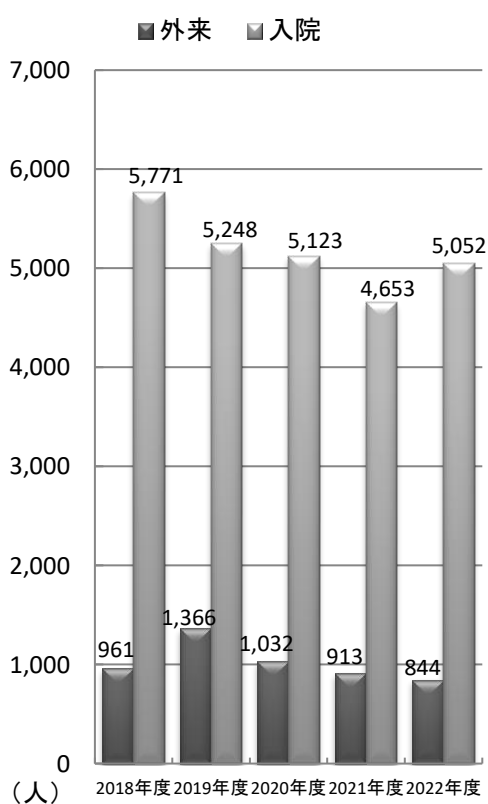
30-3 年度別腎臓病教室出席患者・家族数 (人)

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率(%)
実患者数	30	30	1			
実家族数	6	13	1			
合計	36	43	2	0	0	0
延患者数	101	111	3			
延家族数	14	44	2			
合計	115	155	5	0	0	0

30-4 年度別腹膜透析患者数 (人)

区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率(%)
導入	1	3	5	3	6	4.4
外来	113	129	181	203	131	95.6
合計	114	132	186	206	137	100.0

30-5 透析延患者数の年度別推移



30-6 2022年度特殊透析延患者数の構成比率

